



ミニ講演会のひとこま

痴呆ハイリスクの方13名程に、リーダーとスタッフ6~7名程、週1回、5ヶ月(20回)、一回2~3時間行う。優しさのシャワーといわれる声かけ・温かいかわりをスタッフから浴びながら楽しいゲームなどをして脳を活性化させます。

## スリーA方式による痴呆予防教室とは?

**【目的】**この法人は、痴呆の発病前での予防及び、軽症からの引き戻しに関する事業を行い、以って福祉の増進に寄与することを目的とする。

**【事業】**①痴呆予防の啓発 広報②自治体や福祉関連事業者へ痴呆予防教室開催の提言③講演会、痴呆予防教室等への講師派遣④痴呆予防に関する講演会等の開催⑤その他法人の目的を達成するために必要な事業

(定款より抜粋)

# いよいよNPO法人格取得へ😊 痴呆予防教室の輪をさらに大きく

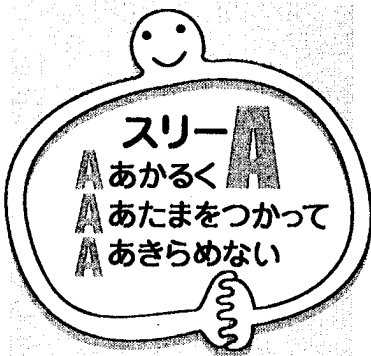
早期での「痴呆のへいじめ」を活動目標にしている、「痴呆予防教室を広げるネットワーク」はこの秋、NPO法人格を取得して、さらなる活動の飛躍を目指す運びとなりました。

## ●これまでの活動 NPO法人として更なる飛躍へ

「痴呆予防教室を広げるネットワーク」は2002年12月17日、「スリーA痴呆予防教室指導者研修を受講した仲間と研修報告会を開催したことから活動が始まり、□□□で次々とミニ講演会が拡がりました。拙いながら懸命に訴えた「痴呆は軽いうちなら引き戻せる」ことをミニ講演(20~40名約40回・講演(150~240名)4回、延べ約1500名の皆さまに聞いていただきました。後半の半年間には、開設したホームページを通じて、遠隔地の自治体福祉関係の方々や、長崎

沖繩の民間の方からもお問い合わせを頂き、責任の重さと痴呆への問題意識の高まりを感じております。

大きな反響の中、これからの時代に必要なことだと後押しをしてくださる方も増えてきました。法人格を取得し、より一層活動に拡がりを持たせたいとの想いから、このほどNPO法人設立申請書を提出しました。



## ●これからの予定

- 9月
  - ▼9日奈良県香芝市地域ケア会議
  - ▼13日奈良県香芝市在宅介護支援センター
  - ▼15日予定あり
  - ▼25日高槻市NPO法人デイサービス
- 10月
  - ▼4日大阪府泉南市
  - ▼15~17日 国際アルツハイマー病協会第20回国際会議・京都・2004ポスター発表

## 日々是好日 絵に描いた餅

痴呆予防の指導者研修を受けて一年が過ぎました。この間、介護認定調査員として各家庭を訪問している中で、「今、この方が予防教室に通ったら引き戻せるだろう」、「家族が優しく接する方がいい」といつても、この事情がらすれば、それは無理だろう」と思うご家庭に出会うことが何度もあり、その度に、予防教室があればと思いました。

予防教室のすばらしさはいくら説いても、近くに通える教室がなければ絵に描いた餅です。

いよいよNPO法人として本格活動することになり、本物の餅を焼いて食べていたただける日が近づいたようにワクワクした気分です。

目からうろこのようでありながら、□□□の卵のようでもあるスリーA方式の痴呆予防教室が、全国に広がるよう私も力になりたい。

千代音(介護認定調査員)



# 痴呆を早期で食い止めよう! 痴呆予防に市民権を!

## 国際会議でのポスター発表決定

### 国際アルツハイマー病協会第20回国際会議・京都2004 2004年10月15日~17日 研究者も家族も参加する国際会議



**ボケからのカムバック**  
増田未知子・著  
静岡新聞社 / 1456円+税  
ISBN: 4783812276

「ボケからのカムバック」の感想から:  
Aさん ボケからの力

「ボケからのカムバック」の感想から:  
Bさん この本にはボケになつた本人の多くの言葉が書かれてあり、本人の苦しみ、不安、悲しみ、淋しさに気づいていなかっただことを痛感しました。

初期のボケは戻る。著者の提唱で始まった脳活性化訓練施設スリーAの活動の記録。痴呆の悪化を防ぎ初期痴呆

から戻すためには周囲の優しさが大切と教えます。優しさの実践は、例えば「お父さん、ひとりぼっちじゃないんです。私がついていきますよ」

ムバックの快挙は、長年私が求めていたものです。医療よりも看護の基本の「人のぬくもりの大切さ」を学びました。Bさんこの本にはボケになつた本人の多くの言葉が書かれてあり、本人の苦しみ、不安、悲しみ、淋しさに気づいていなかっただことを痛感しました。

### 初期のボケは戻る! 感動の実践記録 スリーA活動の理解を深める二冊

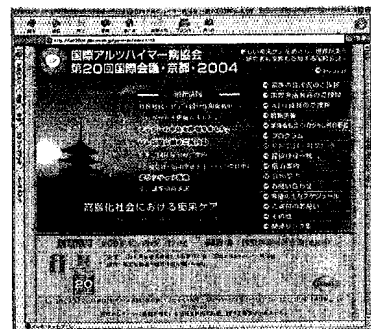


ちよの本箱 『ボケからのカムバック』 増田未知子・著



当会主催講演会での増田未知子さん

私たちはこの秋京都で開催される「国際アルツハイマー病協会第20回国際会議 京都2004」会場でのポスター発表に参加する事が決定しました。「新しい痴呆ケアをめざし世界が集う」研究者も家族も参加する「国際会議」をスローガンに開催されるものです。私たちの活動ポスターの展示がアネックス会場で実現する運びとなりました。NPO法人取得と共に、私たちの活動のますますの発展に向けた良いアピールの機会として、このポスター発表を充実させていけるよう、鋭意準備中です。どうぞご期待ください。



<http://adi2004.jtbcom.co.jp>

★会議の詳細は公式ホームページで!  
会議の参加者は医師、看護師などの医療従事者、介護福祉士、介護支援専門員などの介護従事者、介護家族や痴呆の人、さらに弁護士や行政担当者、痴呆ケアにかかわる研究者など多職

種で多様な方々で、痴呆ケアに関する唯一で最高レベルの国際会議といえます。  
●とき・2004年10月15日~17日  
●会場・国立京都国際会議場  
●サブテーマ  
15日/痴呆ケアの将来戦略  
16日/痴呆の人と家族  
17日/痴呆と人権  
詳細は公式ホームページか当会事務局までお問い合わせ下さい。また三日間の会期の初日、15日には左にご紹介している「ボケからのカムバック」著者の増田未知子さんが来場の予定です。

#### ホームの思い出①

#### もんぺ姿

京都大原で、かすり模様の後姿が懐かしい小柄な老女をみかけた。白地の和服はもんぺ仕立てで、危ない足元、あのウィッグの感じ。七年前のホームでの情景が鮮明に思い出された。

「高島屋のフォンテーヌ売り場で、シャンブー買ってほしい」。小柄で、丸い背中が優しい、凜としていた。小さな可愛い花へくそかすらの憂をみせたら、眼鏡の奥の大きな黒目をきよらきまらせた。  
そのときの歌が出来た。

「七月諾う」(うべなう)納得する

無粋なる名をつけられし万葉の  
草花おほえて五月雨れの朝

家族より離れて老いら暮らしつ

星にねがうは家内安全

「約束どおり定年まで居たよ、お盆には我が家にも寄ってね。」私の

「票は清いのよ」といたずらっぽくト

シ」さんの声が聞えた。

第二〇回参議院選挙の夜

#### 編集後記

精鋭乗組員が揃い念願の会報第二便の出航です。最終便はスリーA痴呆予防教室が日本全国津々浦々うねりとなって拡がる時。その時まで心をあわせて漕ぎ続けます。皆さまのお力をお貸しください。 福井恵子